

虎女伝説の地を歩く

日本三大仇討物語の一つ『曾我物語』の主人公、曾我十郎の鎮魂に生涯を捧げた虎女ゆかりの伝説地。
おみやげは虎子饅頭で決まり!!



泡垂山
虎女のもといる十郎を訪ねて第五郎が馬をとばしたが、山頂で馬が疲れ果て泡を垂らしたことに由来しています。

十郎の硯水
十郎が強く足を踏みつけると水が湧き出したと伝わる泉です。十郎はこの水で墨をすり、虎女に恋文を書いたと伝えられています。

化粧井戸
この辺りに住んでいた虎女が朝夕この井戸の水を汲んでお化粧をしたと伝えられています。

五郎の足跡
険しい道を通り白岩神社の裏山に着くと、大きな石があり、その石にあるくぼみは五郎の足跡といわれています。残念ながら今視は道が繋がっておらず見ることはできません。
また、そこから五郎が石を投げ触ると祟りがあると大事にされていました。「五郎の力石」とされる石碑があります。

鳴立庵
虎女19歳の有髪僧体の像が法虎堂に安置されています。遊女が書いた天井の歌が当時を偲ばせます。

延台寺
虎女が開いた寺。虎女の生石、「十郎の身代り石」ともいわれる虎御石が安置されている。虎女供養等や虎女が十郎との恋の成就を祈願した龍神様などがあります。

